

第 2 回 北海道臨床工学技士会 災害時情報共有訓練

Web カンファレンス 内容・意見要約

カンファレンス日時 : 2020 年 3 月 17 日 (火) 19:00~20:00

カンファレンス参加人数 : 24 名 (最大)

1. 情報発信方法について (やりやすさ・問題点など)

- 情報共有シートの項目選択 (エクセルシートの加工) は災害時大変かも…。今回はエクセルシート上に丸をつけて送信したが、実際の災害時に編集するには大変な印象。手書きシートを写真撮影して送信が一番簡単そうだが、容量の問題もあり対策必要か…。
- ワードのフォームの入力やチェックボックスなどが、入力に時間がかからないと思う。

※ 情報共有シートの発信はやりにくいという意見が多い印象。災害時情報共有フォーム (Google フォーム) について紹介し、今後検討進める事を参加者へ説明した。

2. 災害時に必要となる情報内容について

- 情報共有シートを通して必要となる情報について考えていただいたが、どうでしょうか。不足となる情報はあろうか ⇒ 意見なし。足りないという事はないという解釈で良いと思われる。
- 復旧のめどはいつかという情報は不要か? ⇒ 空欄で送れば良いと思うが、無理に入力しなくて良いといった注釈はあった方が良さそう。
- 災害発生の初期段階の送信内容 (パターン 1) と、ある程度落ちついて、今後のめどがついたときに送信する内容 (パターン 2) といった内容があっても良いと思う。
- 胆振東部地震の経験から、こんな情報があったらよかった、といった内容はあるか? ⇒ LINE で道内グループ病院つながっていたため、道内全体に停電しているということがわかった。
- 使用不能な施設機能の解釈について ⇒ 損傷などで使用不能と解釈した人と、患者使用中のため使用不能と解釈した人がいた ⇒ どんな情報を書いて欲しいかシートの表記改善余地あり。
- 受け入れに関する情報があると良いか ⇒ 胆振東部地震のメーリングに受け入れ情報あり、実際に患者 1 名依頼した経験あり有用と思う。第 2 報の情報に盛り込んでも良いのではないか。
- 釧路日赤・倉重さんより、釧路根室地区の透析の災害時状況報告書について紹介あり。写真撮影して送る様式。様式 1 は初動段階の内容 (透析できるかできないのか、建物損壊有無、ライフラインダメなのか)、様式 2 は落ち着いてから発信する内容 (受け入れ可能な状況、何名受け入れ

て欲しいか)。岩手県の情報を参考に作成と情報提供あり。

- 情報を分割して送信する理由 ⇒ 1度で送信できれば良いが、時間経過で推移と思われる情報に合わせて分割した。
- 集計について ⇒ 集計する人は決まっている（釧路根室地区役員で行う）。行政と情報共有する構想あり。林田クリニック院長の林田先生の発声で立ち上げ。

3. その他

- 訓練の時間設定について ⇒ 業務中のため入力しにくいという意見あり・・・。
- 希望の時間？ ⇒ 訓練の時間を長くしても良いかと思う。10時～16時くらいが良いか？
- 情報共有方法について、掲示板といったものは考えているかと質問あり。⇒ 停電時メーリングアクセスできなくなった時のバックアップ機能検討必要で、シンプルかつバックアップがある情報収集方法を検討していくと参加者へ説明。
- 返信施設数について質問あり。⇒ 67施設返信あり。臨床工学技士在籍施設から見るとまだまだ参加施設少ない印象と認識共有。
- 2回目の訓練で、業務厳しい時間帯だったが情報発信できた。情報発信要領を理解することが重要なため、今後も訓練が必要と思うと意見あり。

以上